

個人投資家向けIRセミナーin札幌

2023年7月29日

株式会社 **テックス**

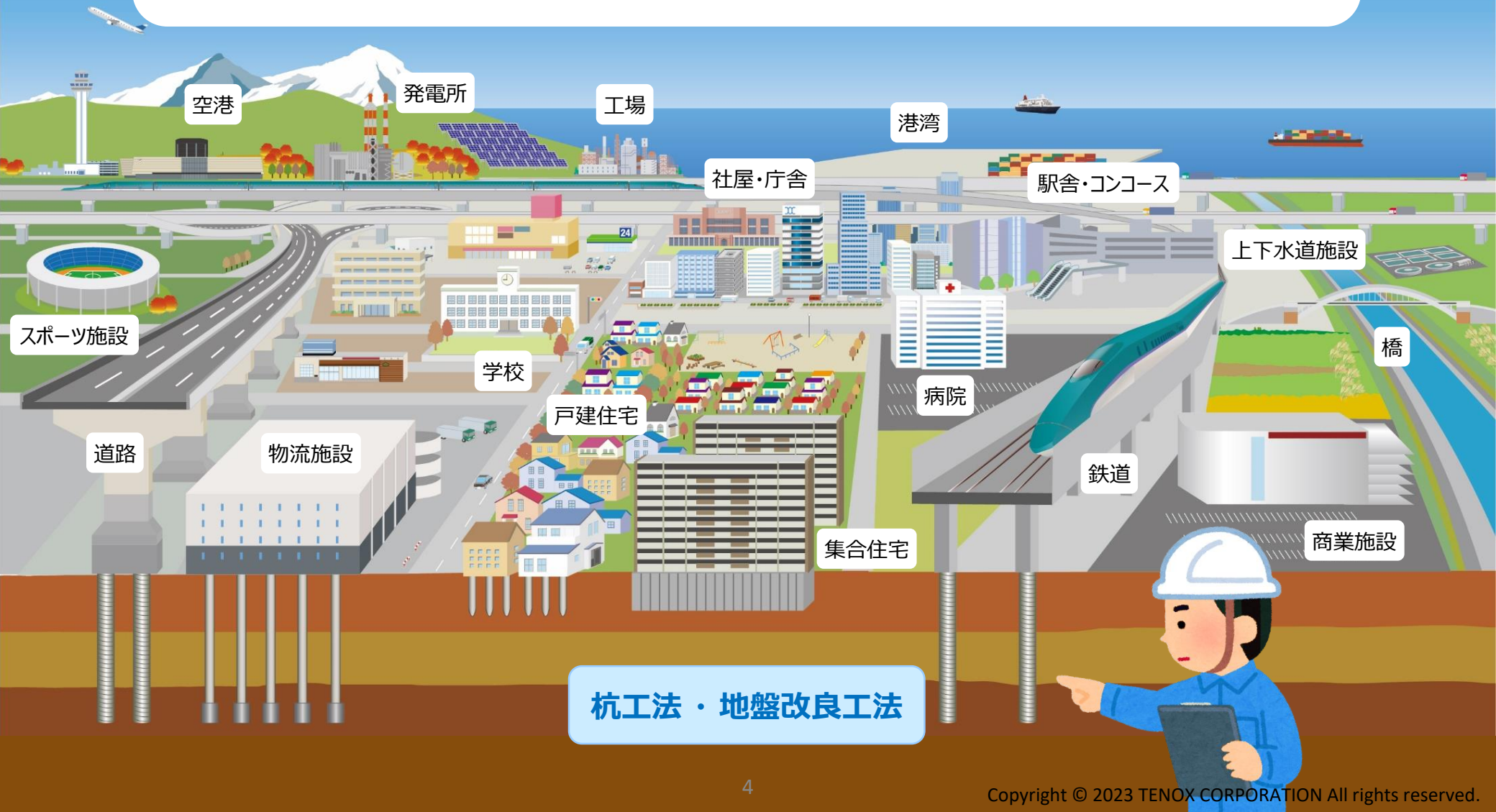
STANDARD TOKYO 証券コード：1905



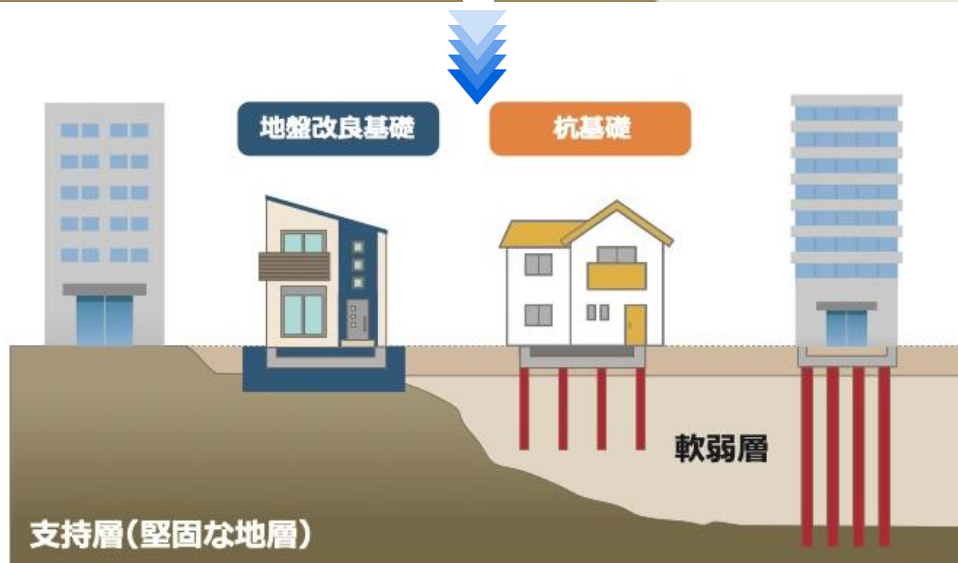
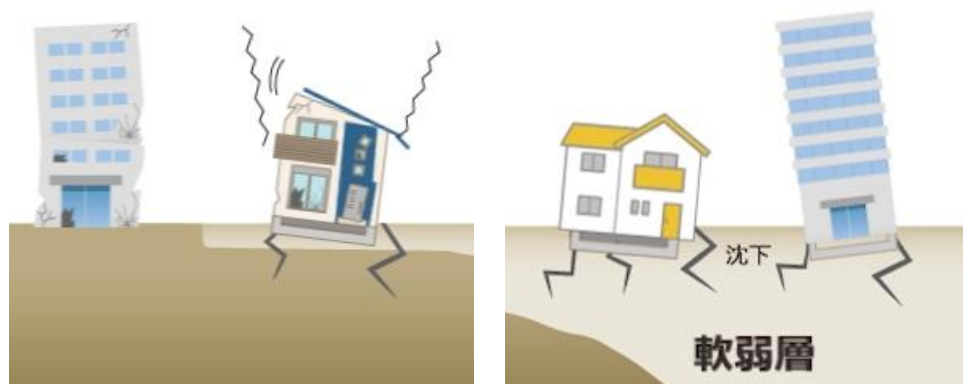
1. 「テノックス」って、どんな会社なの？
2. テノックスの「強み」って何？
3. テノックスの「今」って、どうなの？
4. テノックスの「これから」は？
5. テノックスの「ファン」に！

1.「テノックス」って、どんな会社なの？

私たちテノックスは、住宅、商業施設、病院、倉庫、工場、鉄道、道路など、身の回りにある様々な構造物を利用するすべての方々に、基礎工事を通して「安全」と「安心」をお届けしています。



建築構造物や土木構造物の荷重を地盤に伝え、安全に支える構造を築造すること



日本は地震が多いうえ、人口の大半が河川が運んだ軟弱な土砂が堆積した平野に集中しています。

このような地盤に建物などを建てる際は、軟らかい地盤の下方にある硬い地盤（支持層）で支えねばならず、地盤と建物の条件に適した土台作り＝基礎工事が必要となります。

私たちは、あらゆる建物や構造物を支える基礎工事の専門家集団です。

社名（テナックス）の由来

創業者の安田善次郎が、1970年に安田を慕う10名の青年とともに会社を設立しました。この10名が雄牛の様に力強く邁進しようと、10名の「TEN」と雄牛の「OX」を結びつけ、「TENOX」（テン・オックス＝10頭の雄牛）を社名としました。



初代社長安田善次郎（前列中央）と創業時の顔ぶれ

ロゴマークについて

雄牛のOXをヒントにロゴマークをデザインしました。



施工例



某電子部品メーカー新工場建設工事（岐阜県大野町）
（2022年12月～2023年3月テノコラム工法施工）

社名	株式会社テナックス (英訳名) TENOX CORPORATION
本社所在地	東京都港区芝五丁目25番11号
設立	1970年7月8日
資本金	17億1,090万円
代表者	代表取締役社長 佐藤 雅之
事業内容	・ コンクリートパイル、鋼管パイルの販売 およびその杭打工事の請負 ・ 地盤改良工事の請負
従業員数	連結319名（2023年3月31日現在）
拠点・グループ会社	国内拠点：11ヶ所 グループ会社：国内4社・海外1社
上場市場	東京証券取引所 スタンダード (証券コード：1905)



50th Anniversary
テナックスの底チカラ

創立50周年記念
シンボルマーク

創業者 安田善次郎の想い



創業者 安田 善次郎

『**基礎工事は建物を支える大事な工事**なのに、工事は下請け任せで手抜きされても分からない。自分でやらなければならない、というのが私の考えだ。そして、町中でドカンドカンと大きな騒音と振動と油煙といった公害を振りまく。これからは公害を振りまくような工事は厳に慎まなければならない。

『**環境に配慮した低公害工法を開発する必要がある。**』

(1970年5月)

テノックス50年の歩み

株式会社 テノックス

1997

(財)鉄道総合技術研究所（現・公益財団法人）・東急建設(株)と共同開発の**ラディッシュアンカー工法**技術審査証明を取得

2002

旭化成建材(株)と共同開発の**ATTコラム工法**国土交通大臣認定を取得

2005

新日本製鐵(株)と共同開発の**TN-X工法**国土交通大臣認定を取得

2010

(株)日本住宅保証検査機構と共同研究開発の**ピュアパイル工法**建築技術性能証明を取得

2018

ベトナム社会主義共和国にて**テノラム工法**の企業規格（TCCS）を取得

1995

新日本製鐵(株)・(株)クボタと共同開発の**ガンテツパイル工法**、技術審査証明を取得

1984

当社開発の**テノラム工法**特許を取得

1985

新日本製鐵(株)（現(株)日本製鐵）と共同開発の**TN工法**建設大臣認定を取得

1980

旭化成建材(株)と共同開発の**CMJ工法**業界初の建設大臣認定を取得

1970

東京都港区に(株)テノックスを設立

本社・営業所 ● 8ヶ所（● 3出張所）、グループ会社 ● 国内4社、海外1社

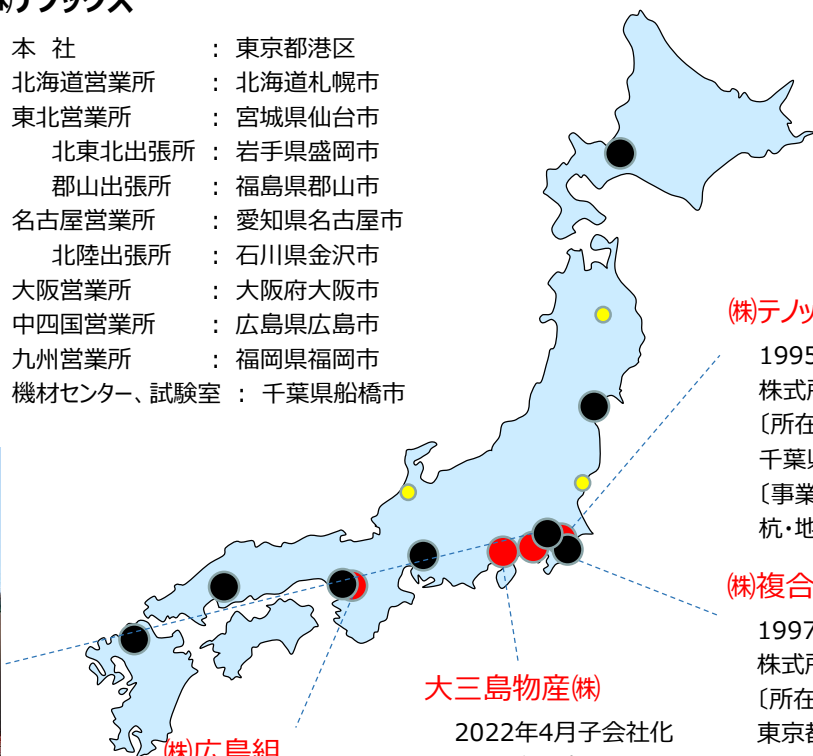
国内

(株)テナックス

- 本社 : 東京都港区
- 北海道営業所 : 北海道札幌市
- 東北営業所 : 宮城県仙台市
- 北東北出張所 : 岩手県盛岡市
- 郡山出張所 : 福島県郡山市
- 名古屋営業所 : 愛知県名古屋市
- 北陸出張所 : 石川県金沢市
- 大阪営業所 : 大阪府大阪市
- 中四国営業所 : 広島県広島市
- 九州営業所 : 福岡県福岡市
- 機材センター、試験室 : 千葉県船橋市



(本社)



(株)広島組

2020年10月子会社化
株式所有割合 100%
〔所在地〕
大阪府大阪市
〔事業内容〕
杭工事、地盤改良工事、土留工事

大三島物産(株)

2022年4月子会社化
株式所有割合 100%
〔所在地〕
静岡県三島市
〔事業内容〕
杭工事、地盤改良工事、山留め工事

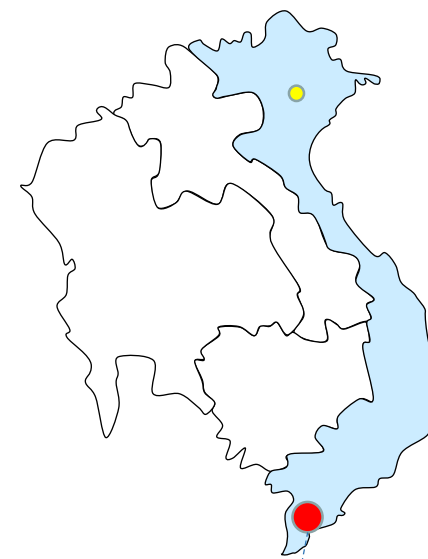
(株)テナックス技研

1995年9月子会社化
株式所有割合 100%
〔所在地〕
千葉県船橋市
〔事業内容〕
杭・地盤改良事業及び建機賃貸

(株)複合技術研究所

1997年4月設立
株式所有割合 55%
〔所在地〕
東京都新宿区
〔事業内容〕
土木建築コンサルティング全般等に関する事業

海外 (ベトナム) アジア進出の拠点



TENOX ASIA COMPANY LIMITED

2015年9月設立
出資比率 100%
〔所在地〕
ベトナム社会主義共和国ホーチミン市
〔事業内容〕
ベトナムにおける杭材料の販売及び地盤改良工事の施工等

長期ビジョン (目指すべき企業像)

変化する社会のニーズに適応した技術の革新に積極的に取り組むことで、新たな価値と市場を創出する
基礎工事を通し、社会に「安全」「安心」を提供し、すべてのステークホルダーが豊かさを実感できるサステナブルな企業を目指す

長期ビジョン
(目指すべき企業像)

経営理念

人間尊重
技術志向
積極一貫

経営理念

建設事業

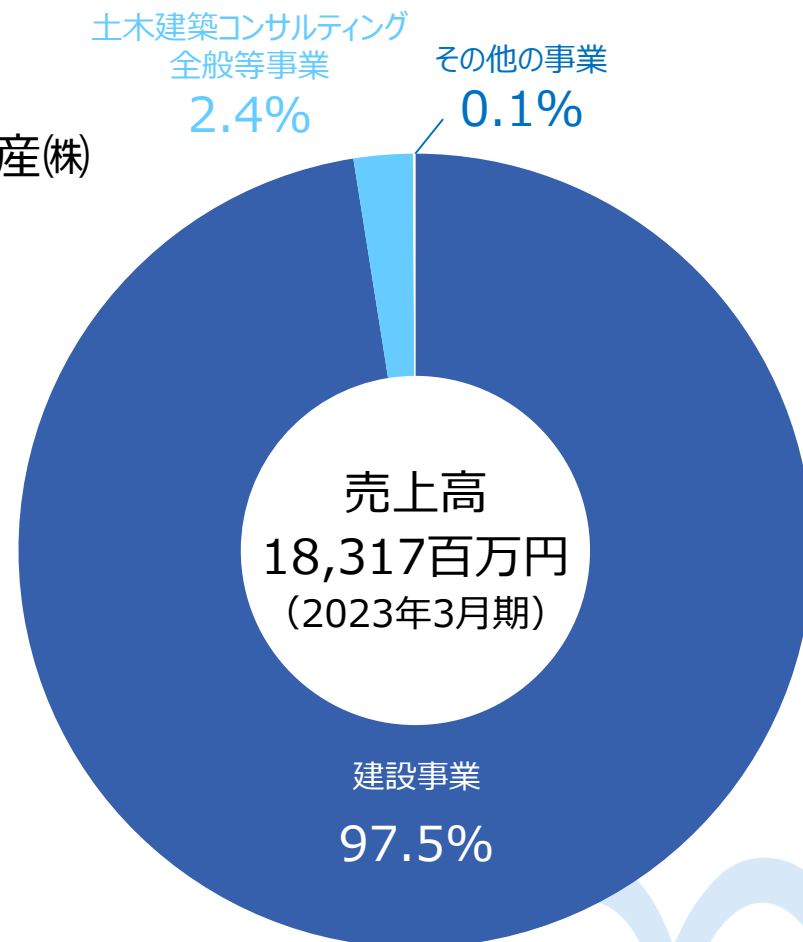
国内では、当社及び(株)テナックス技研、(株)広島組、大三島物産(株)が基礎工事に特化した建設事業を行っております。
海外では、TENOX ASIA COMPANY LIMITEDが事業を行っております。

土木建築コンサルティング全般等事業

(株)複合技術研究所が、地盤の強化・補強に関する分野のシンクタンクとして、設計・解析・実験業務などを行っております。(公財)鉄道総合技術研究所とタイアップし、鉄道に関するコンサルティング業務も行っております。

その他の事業

不動産賃貸事業等を行っております。



杭工法



支持層がおおむね10メートルより深い場合に用いられる工法

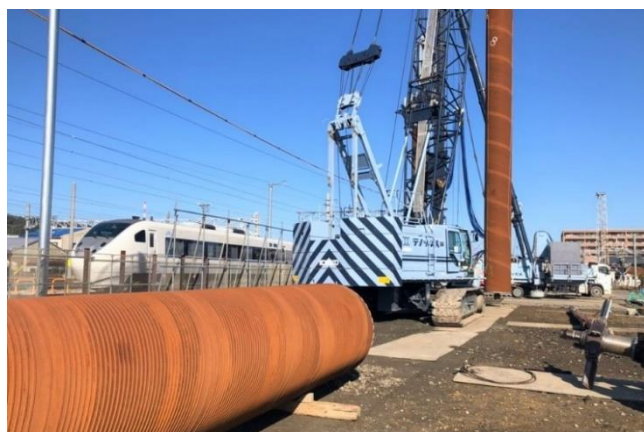
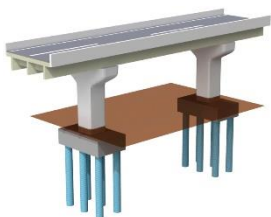
地盤改良工法



支持層が1～10メートル程度の原地盤に改良材などを混ぜ合わせながら硬い地盤に変えていく工法

基礎工事の対象は、戸建て住宅から高層ビルや橋梁まで大小多岐にわたる建築・土木構造物となるため、基礎工事を行う企業も中小企業から大企業まで様々な中、施工方法が異なる2つのカテゴリーを有していることが特長

ガンテツパイル工法 (鋼管ソイルセメント杭工法)



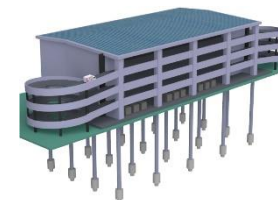
日本製鉄株式会社、株式会社クボタと共同研究開発した工法。ソイルセメント柱と外面突起付き鋼管から構成されるハイブリッド高支持力杭です。発生残土量が少ないため環境に優しく、少ない杭本数で構造物を支えることができるため建設費を縮減、工期を短縮できます。道路橋、鉄道橋、上下水設備など、土木分野で幅広くご採用いただいております。

※ソイルセメント柱とは、地盤にセメント、水、混和材を練り混ぜたセメントミルク液を注入攪拌混合して造成される固化体の柱のことです。

– 主な施工事例 –

北海道新幹線（詳細を次ページでご紹介）・北陸新幹線・首都圏中央連絡自動車道（圏央道）・新東名高速道路・甲子川水門・鶴住居川水門・新名神高速道路 etc.

TN-X工法 (先端拡大根固め鋼管杭工法)



日本製鉄株式会社と共同研究開発した、大径鋼管杭の先端に拡大根固め体を築造する建築向けの工法です。少ない本数で大型構造物を支えることができること、鋼管杭の高い靱性から大地震に強いことから、大型物流施設やデータセンター、官庁施設、空港施設などの重要建築構造物にご採用いただいております。

– 主な施工事例 –

豊洲新市場水産仲卸売場棟・東京レールゲートEAST・東京国際展示場・GLP各拠点物流施設・東京国際空港国際線旅客ターミナルビル etc.

(施工事例)

「北海道新幹線」の地上部分 (明かり部=トンネル以外の区間) を テノックスの技術が支えます。



初弾工事 「市渡高架橋」

2022年7月～2023年3月ガンテツパイル施工

2023年度よりガンテツパイルの施工が本格化

工事延長規模：約212km

2030年度末完成予定

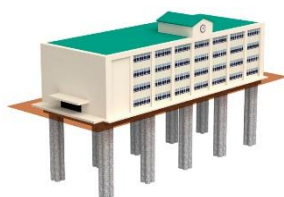
※鉄道・運輸機構HPより



2021年 事前施工試験の様子



テノラム工法 (ソイルセメント工法)



高濃度のセメント系固化材液を地盤に注入攪拌し、高品質の円柱体（ソイルセメント柱）を築造する工法です。1984年に特許を取得。**建築物の基礎工法として地盤改良の使用が認知されるさきがけ**となりました。建築分野で幅広くご採用いただいております、これまで40,000件の実績をあげております。

– 主な施工事例（北海道） –

円山某マンション、札幌南T病院、T乳業北海道工場、ボールパークFビレッジ etc.

ATTコラム工法



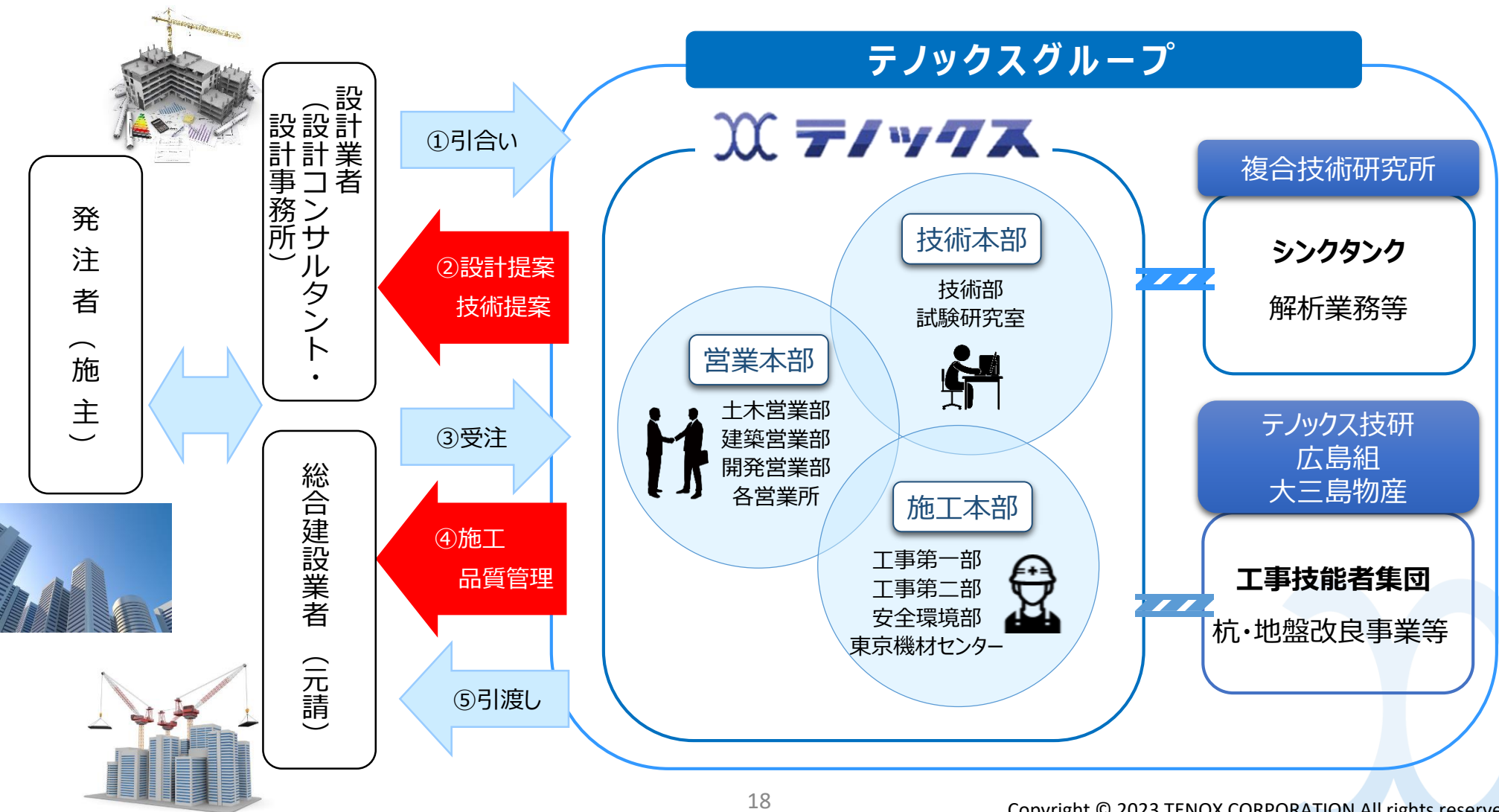
旭化成建材株式会社と共同研究開発した、地盤改良（コラム）と羽根付き鋼管を合体させたハイブリッド杭工法です。ソイルセメント柱の外周面で大きな摩擦力を評価できるため、軟弱地盤においてその特性を最大限に発揮できます。狭い現場や狭い搬入路に対応できる工法として高く評価されております。

– 主な施工事例 –

旭化成ヘーベルハウス・ヘーベルメゾンetc.

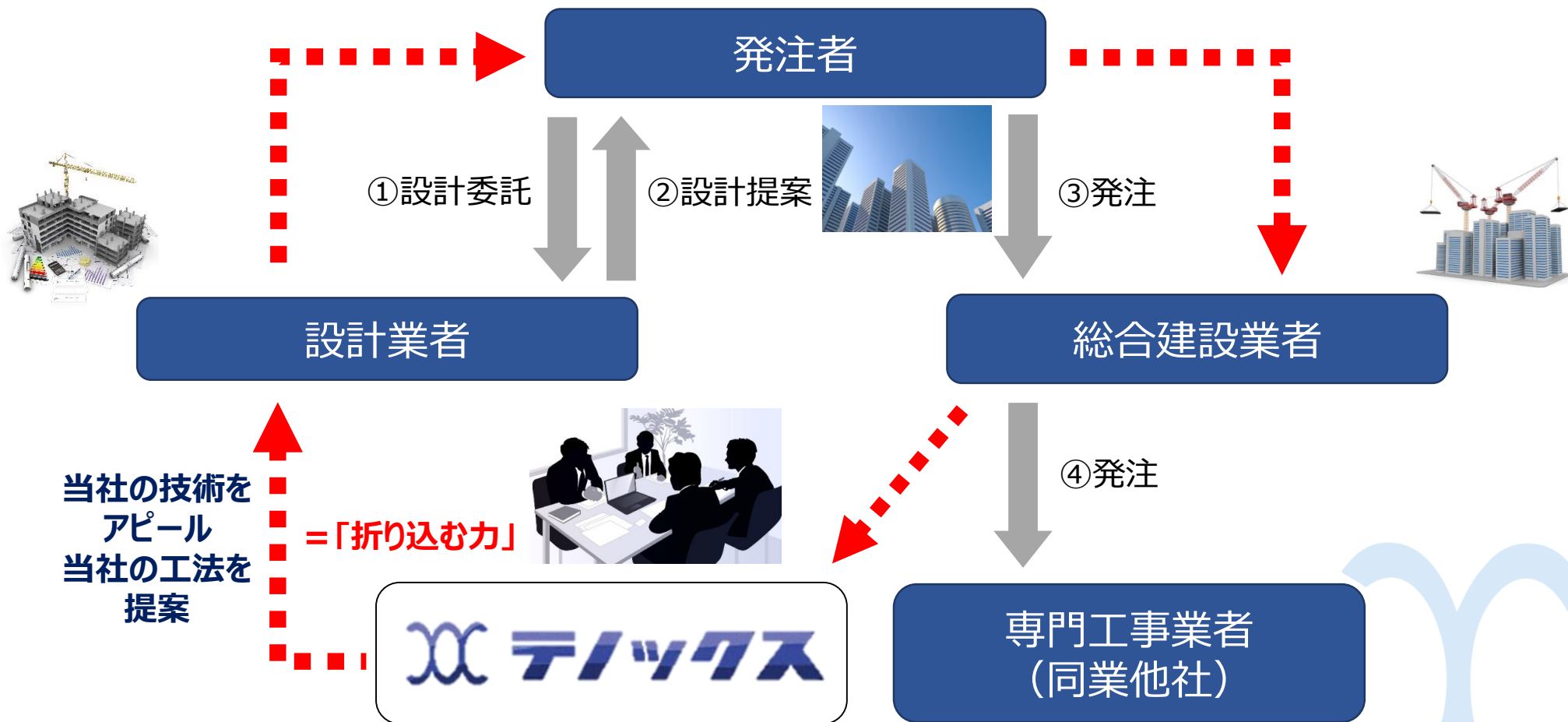
2. テノックスの「強み」って何？

設計から施工まで一貫した体制で高い品質を実現



強み① 「折り込む力」

設計業者が発注者に設計提案をする前段階で技術アピールや工法提案を行い、通常
の取引の流れ（グレーの矢印）を赤の点線の流れに変えることにより受注確度が向上



強み② ネットワーク力・技術力・挑戦力

日本製鉄(株)・(株)旭化成建材・(公財)鉄道
総合技術研究所・東京大学etc.相互の
技術を融合させるパートナーシップ

ネットワーク力
(信頼)

経営理念
人間尊重

ネットワークを
活かした
技術革新による
弛まぬ発展

環境保全に貢献する技術と信頼性の高い
品質管理

技術力
(品質)

- ◆ 特許保有件数：100件
- ◆ 有資格者：
 - 一級土木施工管理技士 69名
 - 二級土木施工管理技士 92名
 - 基礎施工士 77名 他多数

経営理念
技術志向

挑戦力
(向上)

絶えざる新技術・新工法への挑戦こそが
テノックスの基本姿勢

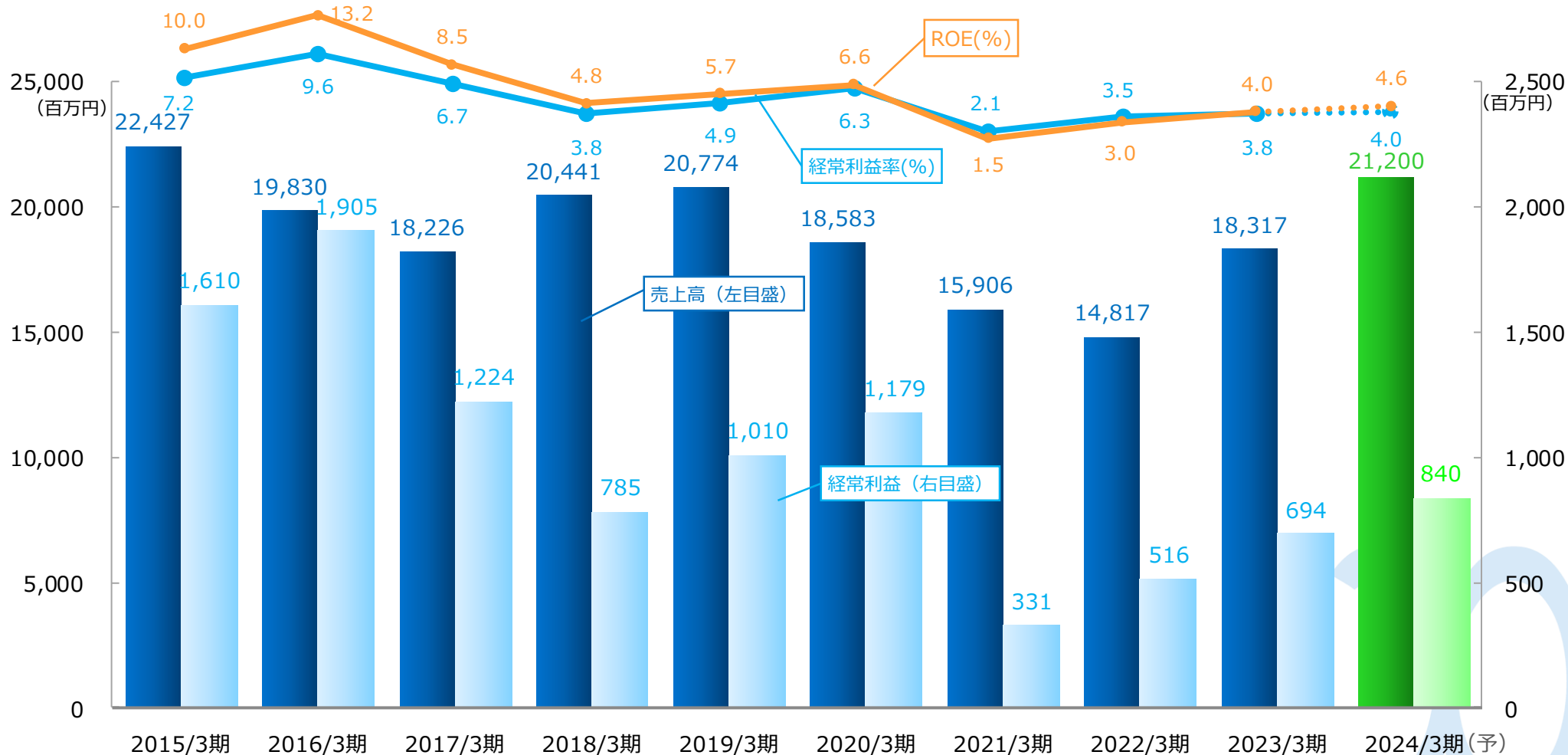
経営理念
積極一貫

3. テノックスの「今」って、どうなの？

業績推移 (売上高・経常利益・経常利益率・ROE)

株式会社 テノックス

- ✓ 2016/3期に連結子会社であった株式会社テノックス九州を持分法適用会社へ変更。2017/3期に持分法適用会社より除外。
- ✓ 2016/3期は、日本経済が回復基調であったことに加え、大型道路プロジェクトや東日本大震災の復興関連工事が寄与し、経常利益19億円となった。
- ✓ 2021/3期は、「北陸新幹線延伸事業」などが終了した反動と、コロナ禍による建設需要の先行き不透明感に伴う競合により大幅な減収減益。
- ✓ 2022/3期から、大型事業施設地盤改良工事や「北海道新幹線延伸事業」等の受注とコロナ規制の緩和により業績回復基調に。連続増収増益。

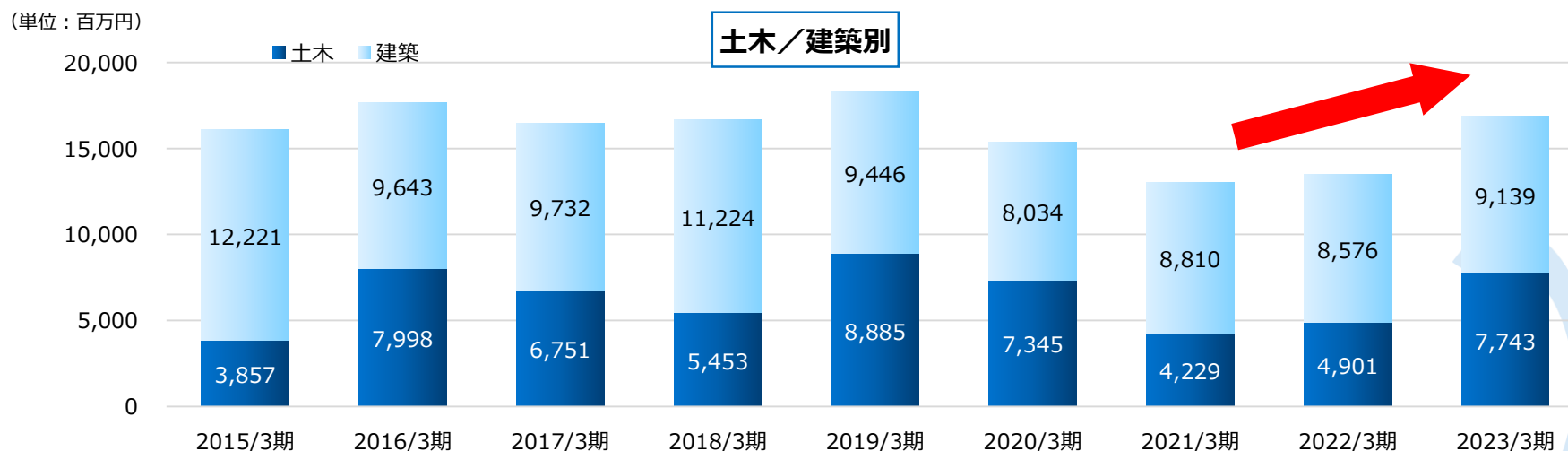
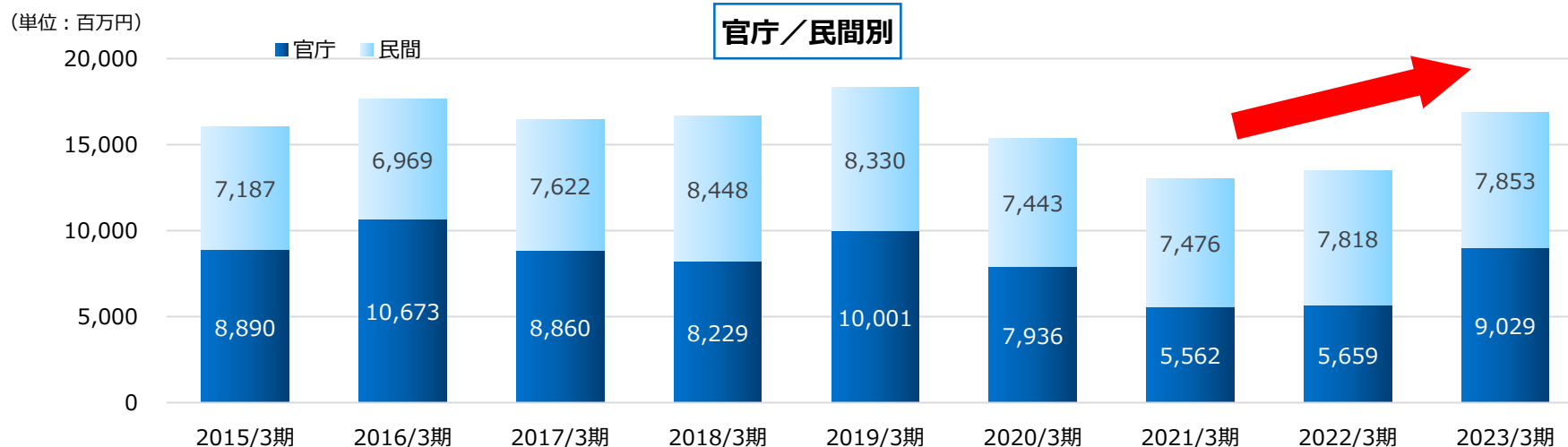


テナックス単体の完成工事高推移

(官庁/民間・土木/建築別)

株式会社 テナックス

建設のあらゆる用途に対応が可能なおことから、バランスよく様々な分野で当社工法が採用されるため経営は安定



4. テノックスの「これから」は？ (中期経営計画)

長期ビジョン（目指すべき企業像）

変化する社会のニーズに適応した技術の革新に積極的に取り組むことで、
新たな価値と市場を創出する

基礎工事を通し、社会に「安全」「安心」を提供し、全てのステーク
ホルダーが豊かさを実感できるサステナブルな企業を目指す

長期ビジョン
(目指すべき企業像)

中期経営計画

現中期経営計画は、長期ビジョンの達成に向けた **Phase 2** と
位置づけ、変化が著しい経営環境を見据えた戦略を構築する

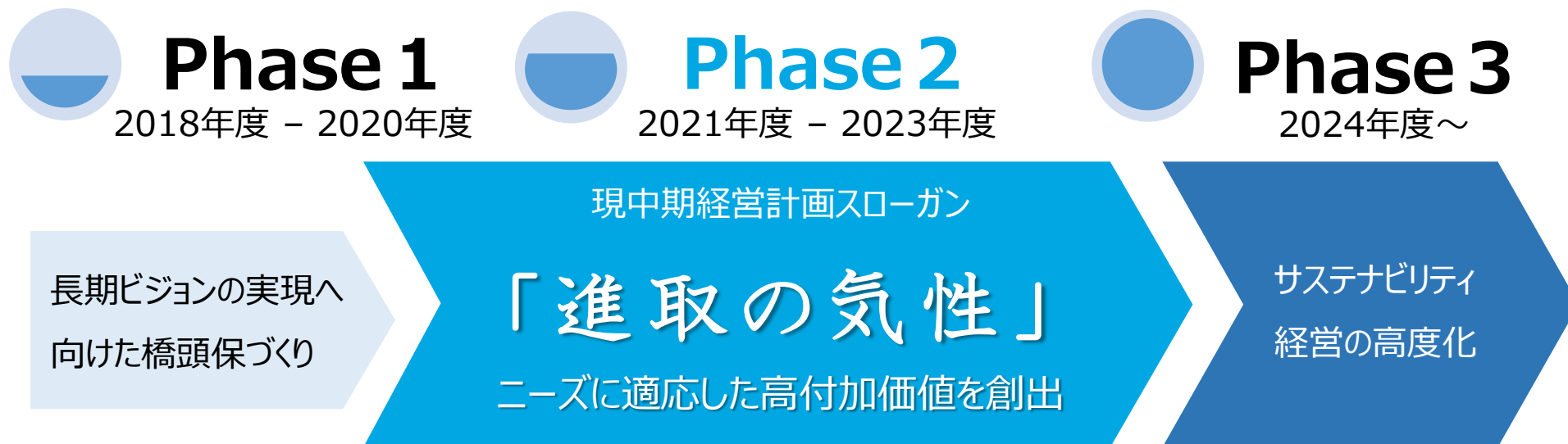
中期経営計画
(2021年度－2023年度)

経営理念

人間尊重
技術志向
積極一貫

経営理念

建設需要の変化、VUCA（※）にも**適応**でき、新たな50年の礎となる高付加価値を追求



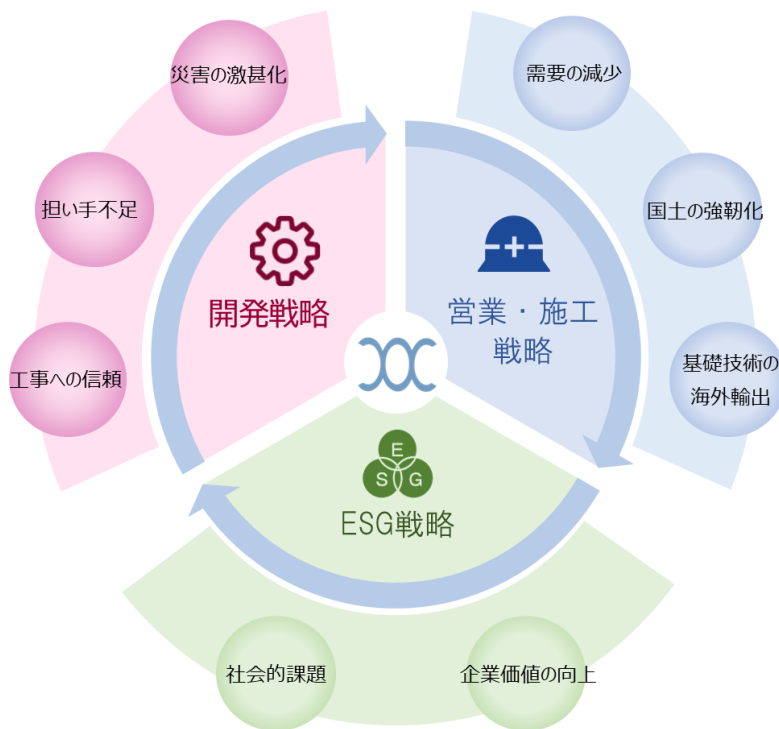
（※VUCA：先行き不明瞭な時代のこと）

前中計からの課題、経営環境・ニーズの変化を、3つの基本戦略で解決

開発戦略

基礎分野における
高付加価値の創出

- 環境変化と国土の強靱化に
基礎技術で貢献
- 社会が安心できる信頼性を確立



営業・施工戦略

施工技術を駆使した
国土強靱化への貢献

- 設計提案から施工までの
サプライチェーンの実現
- 開発途上国の社会インフラ
整備に貢献

ESG戦略

社会課題解決、企業価値向上への取り組み



サステナビリティ経営の高度化

中期経営計画URL

<https://www.tenox.co.jp/ir/management/plan/>

3つの基本戦略の取り組み具体例

(詳細は「ご参考資料」参照)

株式会社 テノックス

開発戦略

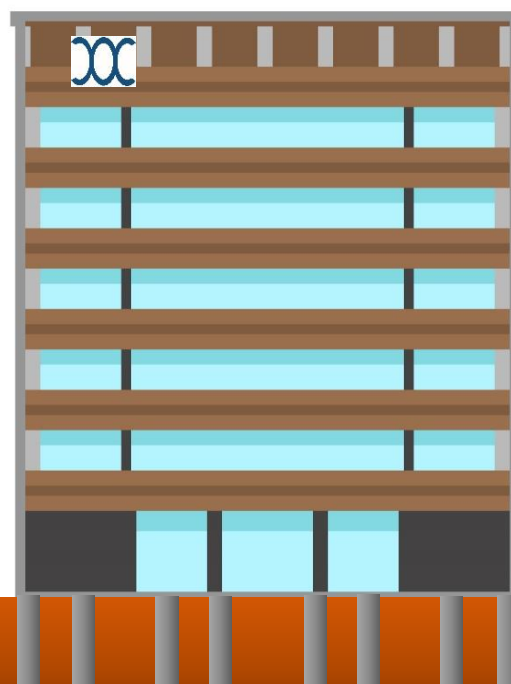
営業・施工戦略

ESG戦略

〈未着手の市場への参入〉

- 既存杭の引抜きと引抜き後の埋め戻し事業
- 地盤改良における硬質地盤への対応施工法の確立
- コンクリートパイルの高支持力工法の開発
- 浅層・中層地盤改良への参入

“ワンストップサービスの実現”



〈社会課題解決への取り組み〉

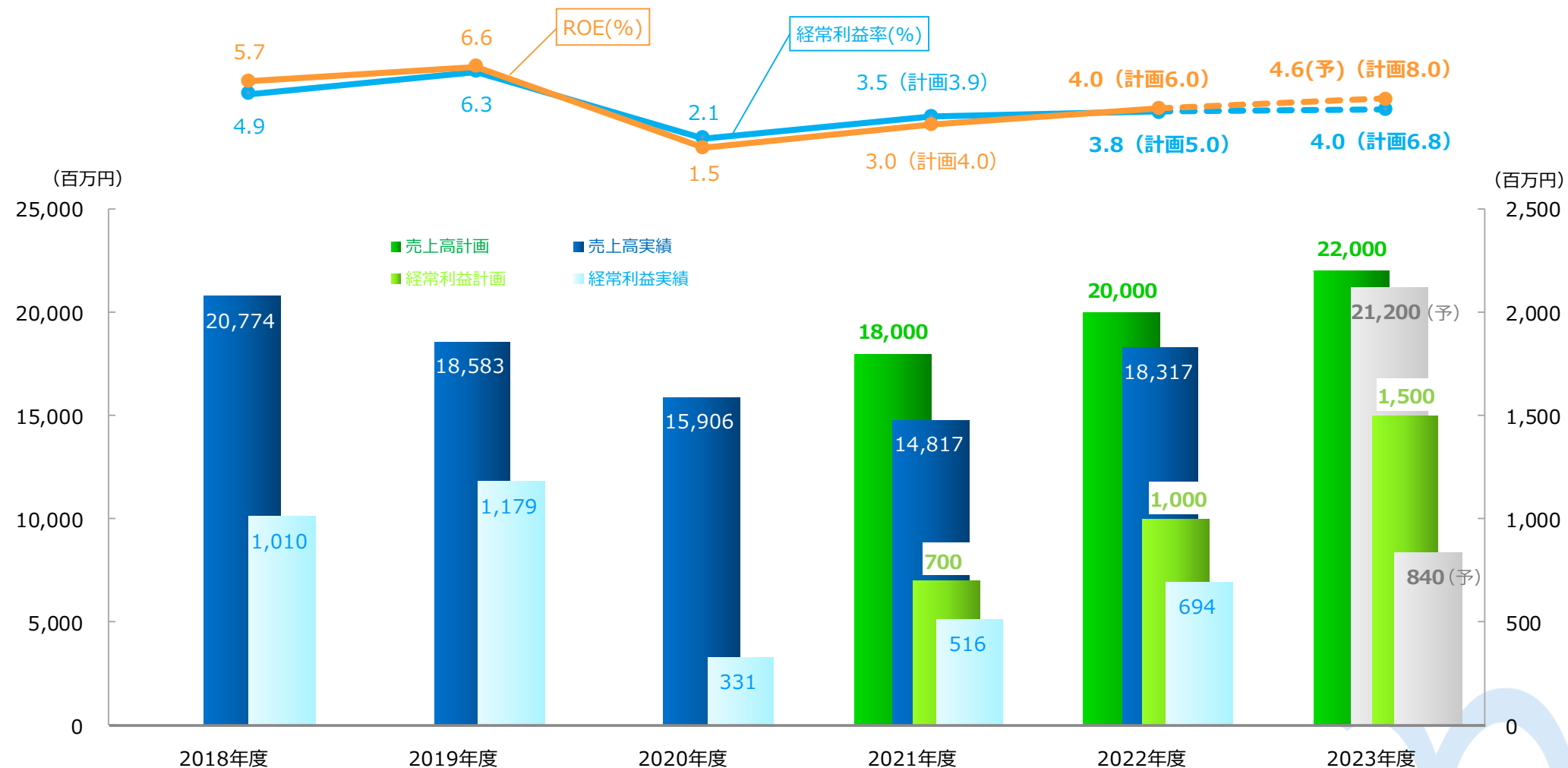
- E ■ 脱炭素（二酸化炭素の削減）
 - ・GTL燃料の使用普及、小型施工機の電動化
 - ・基礎工事での二酸化炭素の固定化
- 産業副産物の再利用
 - ・PAdeCS（コンクリートスラッジからの生成物）焼却灰などの再利用
- S ■ 人への投資
 - ・健康経営、DX推進による生産性の向上、働きがいのある職場環境作り
- G ■ コンプライアンス研修の充実
- リスクマネジメント体制整備

“サステナブル経営を支える”

これまで培ってきた伝統や経験、技術開発力を「基礎」にし、新規を広げていく。

経営数値目標（2021年度 - 2023年度）

株式会社 テノックス



〔売上内訳〕	〔計画〕		〔実績〕		〔計画〕		〔実績〕		〔計画〕		〔実績〕	
	〔計画〕	〔実績〕	〔計画〕	〔実績〕	〔計画〕	〔実績〕	〔計画〕	〔実績〕	〔計画〕	〔実績〕	〔計画〕	〔実績〕
国内建設事業	17,100	14,300	19,000	17,860	20,800	20,500	20,800	20,500	20,800	20,500	20,800	20,500
海外建設事業	400	150	500	27	600	200	600	200	600	200	600	200
土木建築コンサルティング事業	500	365	500	430	600	500	600	500	600	500	600	500

株主還元と成長のための戦略的な投資をバランスよく実施



連結配当性向 30%程度

当該期の業績や財政状態に加え、中期的な見通しも勘案して実施

投資計画 35億円（3年間）

〔2年間の進捗〕

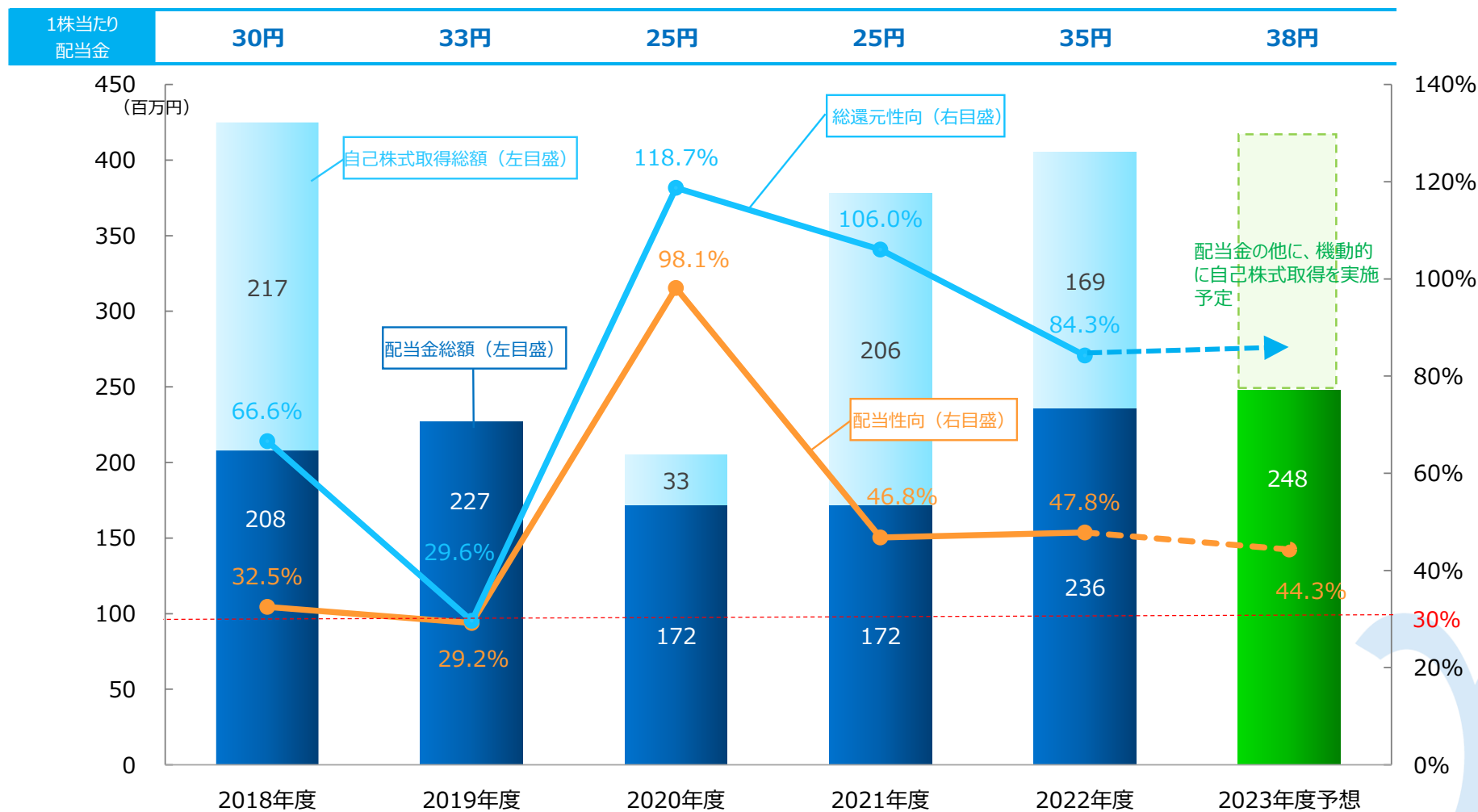
(単位: 百万円)

投資内訳		2021年度	2022年度	計
機材	施工機械関連	213	287	501
開発	研究開発・実験工事関連 ICT技術導入関連	116	105	222
事業	海外事業投資 M&A	4	20	25
教育	人材育成・教育訓練費	5	5	10
環境整備	快適な職場環境形成 従業員の健康保持	30	56	86
グリーン	カーボンニュートラルへ向けた整備	5	0	6
計		376	475	851

5. テノックスの「ファン」に！

株主還元政策の進捗状況

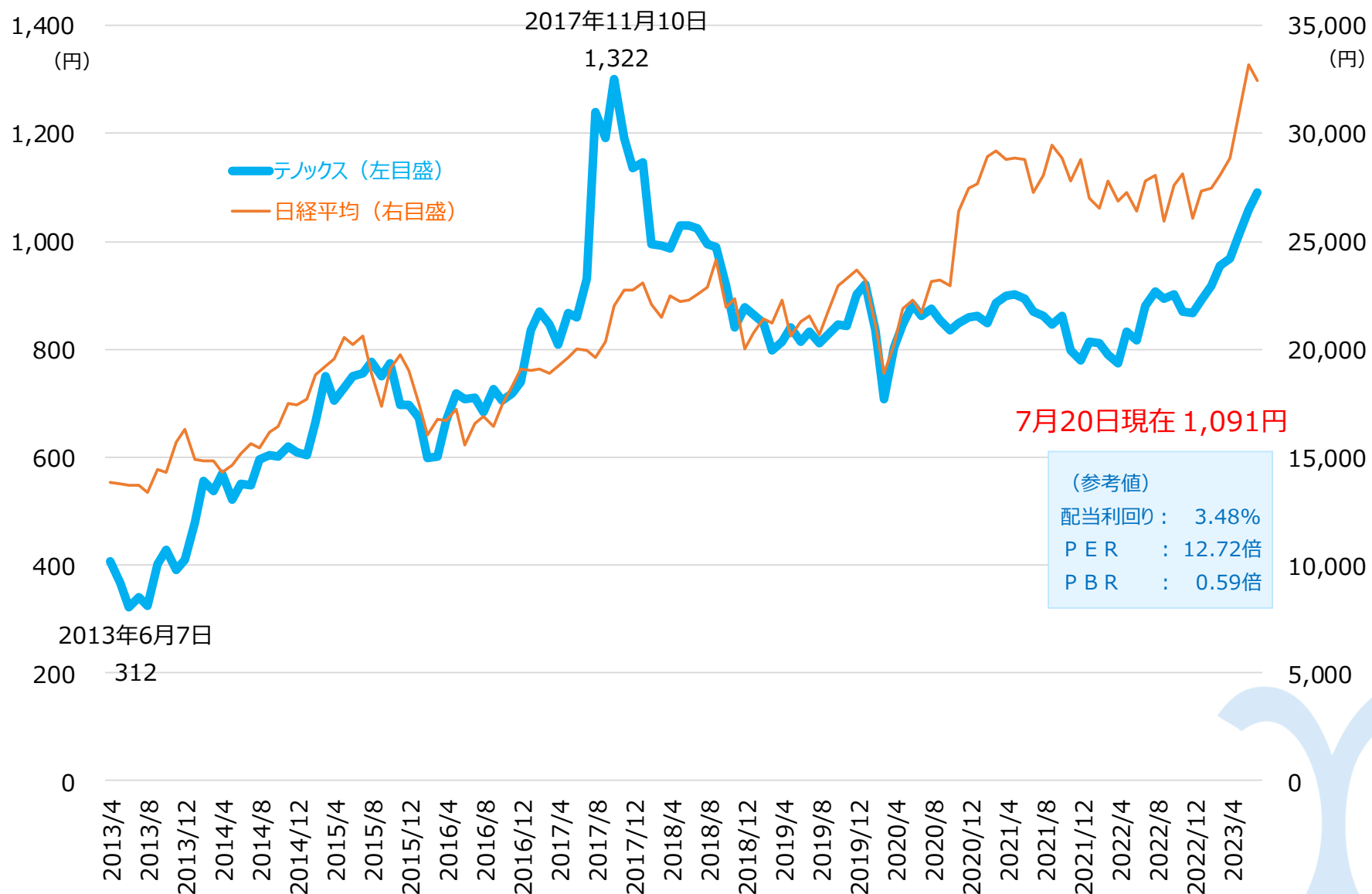
- ✓ 中期的な見通しも勘案したうえで、**連結配当性向30%程度を目安に安定的な配当を実施**
- ✓ **機動的な自己株式取得を実施**



※ 総還元性向 = (配当金総額 + 自己株式取得総額) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益、配当性向 = 1株当たり配当金 ÷ 1株当たり当期純利益

株価推移 (2013年4月から2023年7月)

株式会社 テノックス



建設業が造る構造物は多種多様ですが基礎は共通、テノックスです。



そして私たちを支えてくださるのが株主・投資家の皆さまです！

**ご清聴いただき
ありがとうございました。**



代表取締役社長 佐藤 雅之

ご参考資料
（中期経営計画の取り組みと進捗）

① 営業領域の拡張 → ワンストップサービスの実現へ

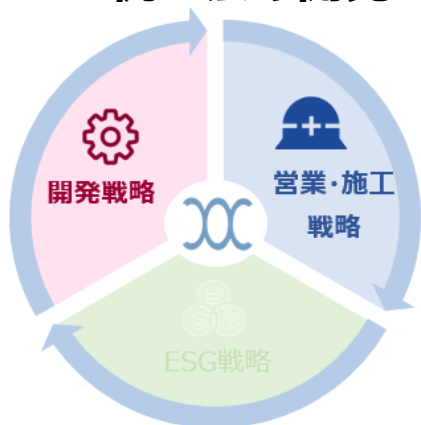
✓ 浅層混合処理工法「TENO Q-be (テノキューブ)」

- 2020年5月より販売をスタート。これまで11件を受注し順次施工を行なっている。
- 2022年1月にタスクフォースを立ち上げ、本格的に事業参入するための取り組みを加速。
- 現在テノキューブの施工管理装置を製作中で、**2023年度中の公的認証取得**を目指す。“品質を担保する浅層混合処理工法”を武器に、拡販に弾みをつける。

✓ 物流施設、データセンターといった大型建築物の受注を目的とする、**コンクリートパイルの高支持力杭工法の開発**に着手



TENO Q-be とテノラム併用の施工の様子



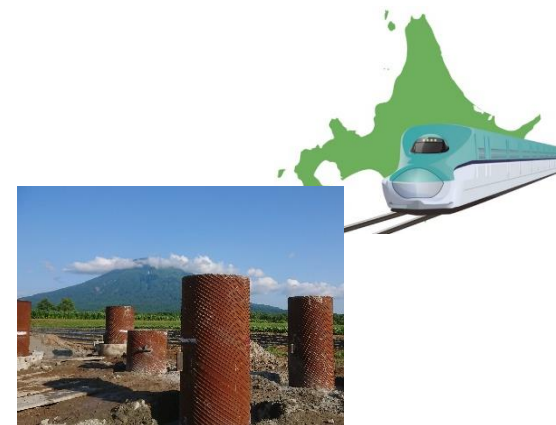
- 浅層・中層改良工法を展開
コンクリートパイル事業の拡大
- 新技術の創出

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



② 国土強靱化、リダンダンシー（※）プロジェクトへの貢献

- ✓ 北海道新幹線延伸事業の高架部工事第一弾「北海道新幹線、市渡高架橋他」の基礎工事を受注、2022年8月より施工を開始し2023年3月に完了
- ✓ 「大阪湾岸道路西伸部」「新名神高速道路」「大阪モノレール延伸」など関西インフラ強靱化プロジェクトの基礎工事を受注し、順次施工中
- ✓ 近年頻発する豪雨災害に備える「松浜雨水ポンプ場調整池」（新潟市北区）の基礎工事を受注、2022年10月より施工を開始し2023年3月に完了



北海道新幹線鋼管ソイルセメント杭施工試験



大阪モノレール支柱建設工事（桑才新町工区）


※リダンダンシー

「冗長性」、「余剰」を意味する英語であり、国土計画上では、自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されている体制を示す。

〈国土交通省ホームページより〉

 リダンダンシープロジェクトへの貢献

 基礎地盤の強靱化への貢献
…国土強靱化政策、減災・防災への提案

 S：激甚災害への備え…国土のリダンダンシー整備への貢献



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



③ 基礎工事業界で初、小型杭打機の電動化の開発に着手

- ✓ 2023年4月に日本車輛製造(株)と小型杭打機の電動化に関する共同開発契約を締結し、開発に着手。
- ✓ 従来のディーゼルエンジン駆動方式から電動機駆動方式に変更し商用電源を使用することで、**基礎工事に伴うディーゼル排気ガスをゼロとする。併せて、グリーン電力を活用することでCO₂排出量ネットゼロの工事実現を目指す。**
- ✓ 2023年度に小型杭打機の試作機を完成、電源供給などの工事システムを構築する。
- ✓ 2024年度に実施工にて検証を行い普及を進める。



小型杭打機



E：環境配慮型社会の形成…CO₂排出量の低減



新技術の創出…環境負荷削減施工法の確立

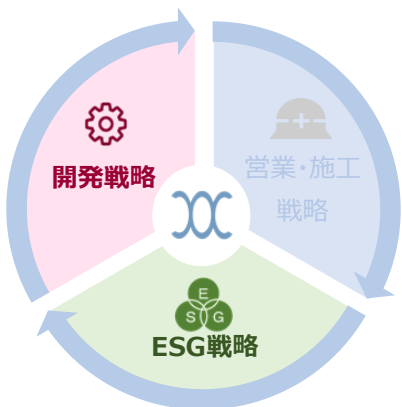


④ 基礎工事業界で初、建設現場にてGTL燃料を導入

- ✓ GTL (Gas to Liquid) 燃料は石油由来の軽油に代わるクリーンな燃料。 燃焼時の**二酸化炭素 (CO₂) 排出量を約8.5%削減**するほか、無色無臭で燃やしてもすすが出にくく、硫黄酸化物 (SOx) や窒素酸化物 (NOx) の大気汚染物質を低減できる。
- ✓ 2021年11月よりこれまで14件の工事現場でGTL燃料を使用し、全社で使用している軽油のうち約3%を転化。燃費や特性を検証するとともに、使用の拡大を図る。
- ✓ **基礎工事業界での導入は初。**



【軽油】 【GTL燃料】



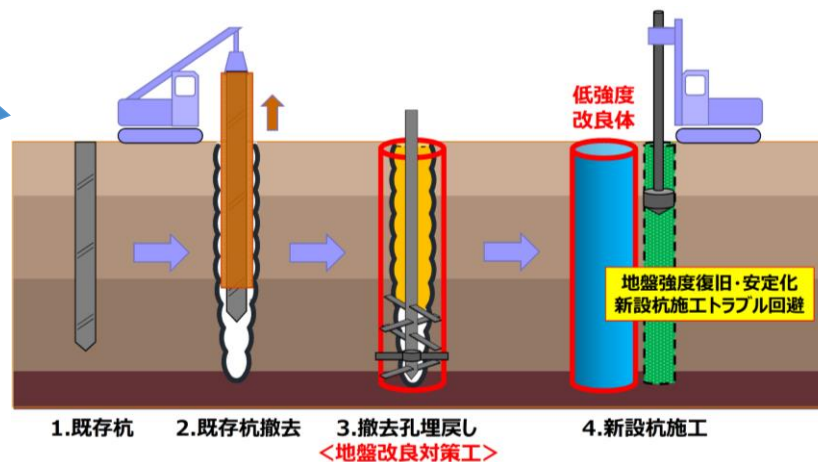
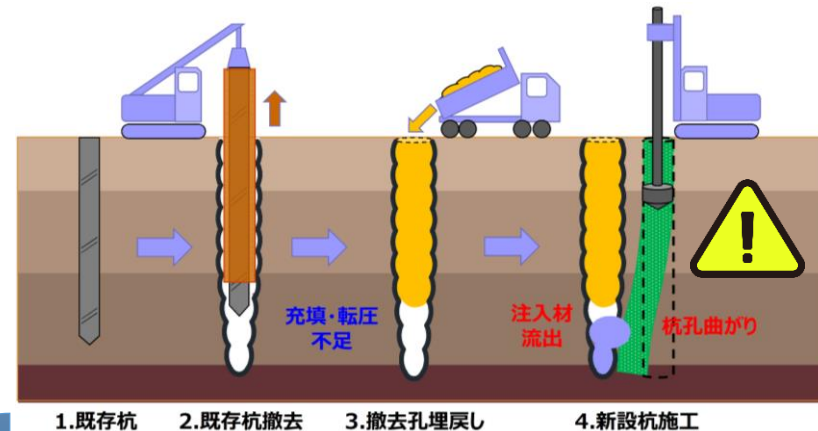
E : 環境配慮型社会の形成…CO₂排出量の低減
新技術の創出…環境負荷削減施工法の確立


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



⑤ 既存杭引抜き地盤への施工技術の検討

- ✓ 既存建物を解体する際、建物を支えてきた杭（既存杭）の撤去後に杭孔の埋戻し処理を適切に行わないと、孔曲がりや孔壁崩壊など、新設杭の品質確保に悪影響を及ぼす。
- ✓ 杭の撤去と同時に埋戻し処理を行い、**周辺地盤の緩みを防止し原地盤程度の強度に復旧、安定させる地盤改良技術の確立**に取り組んでいる。
- ✓ 原地盤程度の強度を確保する方法として、**産業副産物を用いた材料を活用**していくことを検討している。



 **基礎地盤の強靱化への貢献**
 …都市再生に関わる改良施工技術の導入
 新技術の創出…環境負荷削減施工法の確立

 **E：環境配慮型社会の形成…産業副産物を資材として再利用**



⑥ ダイバーシティ&インクルージョン

✓ 2022年6月29日より、当社で初の女性社外取締役就任

女性役員比率12.5% (1/8名)

2021年度上場3,795社の女性役員比率9.0%

うち建設業の女性役員比率7.6%

※東京商工リサーチ「2021年度決算女性役員比率調査」より

✓ 2022年10月より、当社で初めてベトナム人社員を圏央道の現場管理者（※主任技術者）として起用

※公共工事で必置となる主任技術者になるためには国家資格（土木施工管理技士）が必須

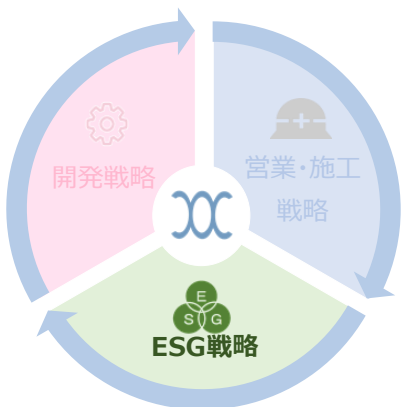
〔参考〕令和3年度2級土木施工管理技術検定合格率40.8%（第二次検定）…国土交通省HPより



鈴木 みき氏

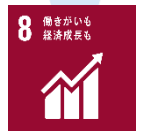
略歴

1999年4月 弁護士登録光和総合法律事務所入所
2004年4月 同所パートナー（現任）
2008年4月 法務省入札・契約適正化調査委員会委員（現任）
2010年4月 慶應義塾大学法科大学院非常勤講師（現任）
2016年10月 東京家庭裁判所非常勤裁判官
2017年2月 (株)藤和ハウス社外監査役
2021年6月 (株)レスターホールディングス社外取締役〔監査等委員〕（現任）



S：人材の確保と育成…ダイバーシティの推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



⑦ 健康経営の推進 → ウェルビーイング経営へ

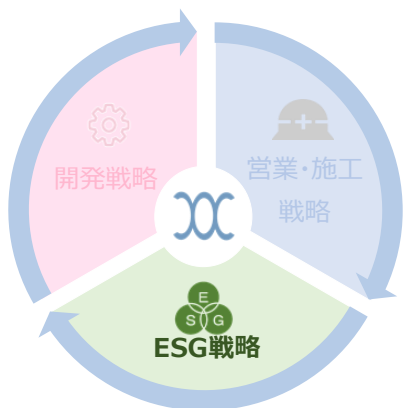
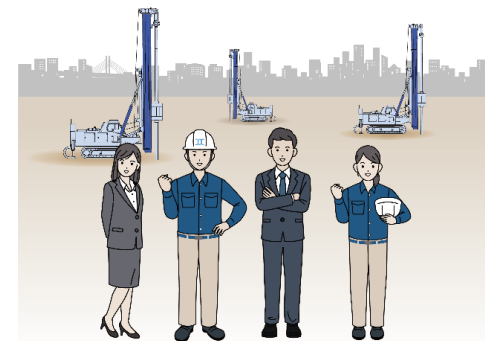
✓ 従業員一人一人に対してメンタル、フィジカルともにサポートできる施策を実施

- 現場作業員熱中症対策の実施（空調服の採用など）
- 健康診断項目の拡充及び全従業員の健康診断受診、35才以上は腫瘍マーカー・腹部超音波検査受診
- ストレスチェックの実施、イントラネットに社外カウンセリング窓口を設置、管理職層向けメンタルヘルス・ラインケア研修の実施
- 禁煙啓発セミナーの実施、禁煙外来治療費補助、非喫煙手当・禁煙手当の支給 etc.

✓ 取り組みの成果として、2023年3月に経済産業省と日本健康会議より「健康経営優良法人2023」を取得

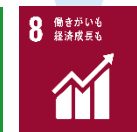
✓ 2022年10月1日より施行された「産後パパ育休」の取得の推進

✓ 長時間労働対策の実施や人事制度の改定など、より健康を意識した経営に取り組む



S : 人材の確保と育成…働きがいのある職場環境の実現

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

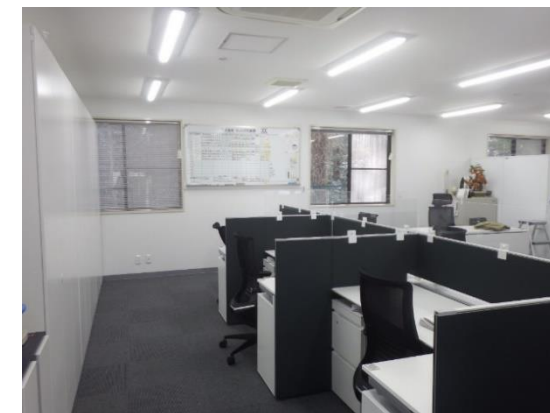


⑧ 働きがいを実感できる職場環境づくり

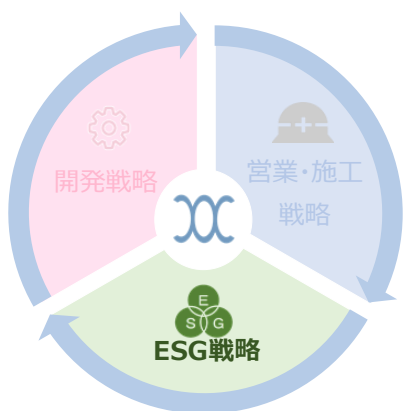
- ✓ コミュニケーションの促進、業務の効率化等を目的に、東京機材センター・テノックス技研の事務所を改装（2021年10月完成）、大阪営業所の事務所を拡張（2023年3月完成）
- ✓ Web会議やペーパーレス会議の利便性向上のため、本社の全会議室にWeb会議用モニターを設置（2021年5月済）、無線LANを導入（2022年3月済）
- ✓ 生産性を向上させる新基幹システムの導入プロジェクトを進行中
- ✓ 2023年度中の人事制度改定を目標にプロジェクトを進行中



大阪営業所新事務所



テノックス技研新事務所



S：人材の確保と育成…働きがいのある職場環境の実現

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



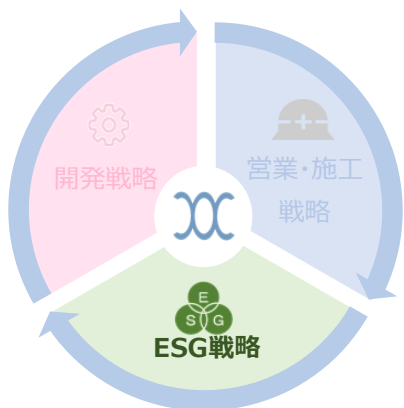
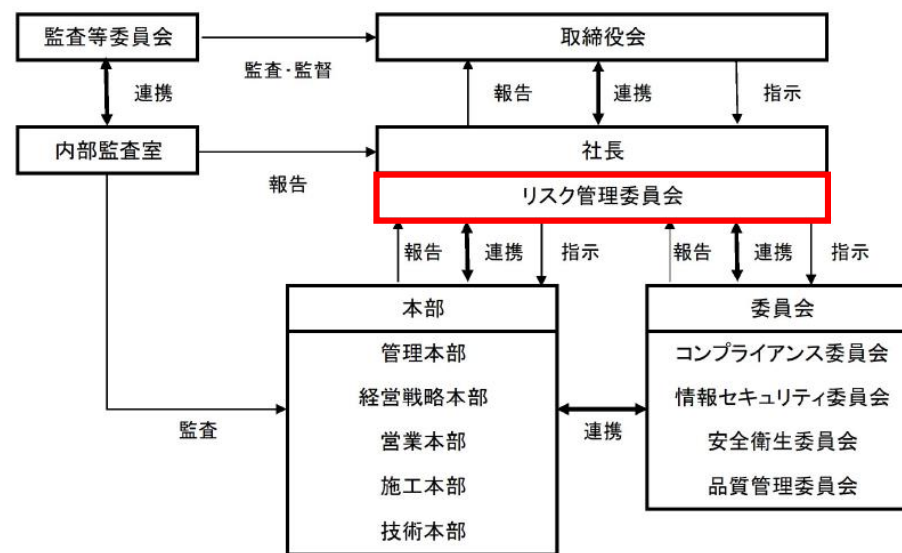
⑨ リスク管理委員会の設置

- ✓ 2022年9月20日に代表取締役社長を委員長とする「**リスク管理委員会**」を設置
- ✓ 「リスク管理委員会」は当社の様々なリスクを把握し、そのリスク対応を支援し、リスク管理体制を強化する組織

<リスク管理委員会の役割>

- ① 全社のリスク管理状況（リスクの特定・把握・分析・評価・対応）を統括
- ② グループ全体のリスクに関する方針を策定
- ③ リスク発見時の適切な対応を可能とする実効的かつ持続的な組織の構築と運用を図る

リスク管理体制



G：経営の健全性…リスクマネジメント体制整備

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



IRに関するお問合せ

- IR担当部署 企画情報推進部 予算・IRグループ
- E-mail ir@tenox.co.jp
- URL https://www.tenox.co.jp/contact/contact_ir/
- ホームページ <https://www.tenox.co.jp/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。